



# としょかんの広場



## いわさきちひろの絵と人生

11月27日(日)、ちひろ美術館・東京の原島恵氏をお招きし、児童文学講演会「いわさきちひろの絵と人生」を開催しました。絵本の読み聞かせや、ちひろの人生の紹介、絵の技法についての解説など盛りだくさんな内容で、原島氏のわかりやすいお話に参加された皆さんも熱心に聴き入っていました。



◆原島恵氏

いわさきちひろは1918(大正7)年に、岩崎家の長女として、福井県で生まれました。父は陸軍の建築技師、母は女学校の教師で、東京都渋谷町(現・渋谷区)道玄坂に移り住み、恵まれた環境で育ちました。当時は大正デモクラシーによる児童文化が花開いた時代で、創刊されたばかりの絵雑誌「コドモノクニ」に出会ったちひろは、岡本帰一、武井武雄、初山滋の童画を好んでいたといいます。

14歳の時、洋画家・岡田三郎助に師事し、17歳の時には朱葉会女子洋画展に入選。女子美術専門学校への進学を希望しますが、三姉妹の長女であるちひろは両親の反対を受け断念します。

20歳の時、婿養子を迎えて結婚。大連に移り住みます。が、この結婚は破綻してしまいました。昭和20年5月の空襲で家が焼け、長野県松本市の母の実家に疎開。この地で終戦を迎えます。

昭和21年、27歳のちひろは画家を志し上京します。人民新聞の記者となり記事やカットを書くかたわら、夜学で美術を学びました。丸木位里ら主宰の早朝デッサン会にも参加したといいます。さし絵や紙芝居などの仕事をし、31歳の時、7歳半年下の松本義明と結婚。このとき2人が交わした5か条の誓約書には、「芸術家としての妻の立場を尊重すること」の一文が入れられています。



◆講演会の様子

翌年には長男・猛が誕生。夫が失職していたこともあり、半年ほど猛を実家に預けます。このあいだも、少しお金を貯めては息子に会いにいきました。しだいに絵雑誌や童話集のさし絵の仕事が増えていき、37歳の時、はじめての絵本「ひとりのできるよ」を手がけます。モデルは息子の猛でした。

ちひろが活躍した時期は、印刷技術も向上し、鉛筆の線や、水彩の微妙な色合いなども表現できるようになりました。ちひろは、水彩のにじみや、白ぬき、日本画の「たらし込み」など、さまざまな技法を使って独自の世界をつくり上げました。人物より花のほうを大きく描くといったスケール感の変化や、人物の心情に合わせた色使いもその一つ。色が塗られていなくても未完成に見えないのは、デッサン力のたまものです。また物語よりも絵を中心にした絵本を制作するなど、つねに新しい表現に挑戦していました。

青春時代を戦時下で過ごしたちひろは、その早すぎた晩年、ベトナム戦争に反対し、「戦火のなかの子どもたち」を出版します。肝臓がんで亡くなる1年前のことでした(55歳没)。

ちひろ美術館・東京では、よく来館者がちひろの描いた子どもの絵を見て、「この子はうちの子そっくり」と話しているそうです。翻訳出版された外国の読者からも同じ声が聞かれるといいます。「子どもの普遍性と尊厳を、ちひろは描いたからだと思います」と、原島氏は話されました。



◆ちひろの絵本や関連作品



## プラッツ習志野開館3周年記念イベント 「中央図書館 ブックリサイクル」

11月5日(土)にプラッツ習志野の出会いの広場で、「中央図書館 ブックリサイクル」を開催しました。図書館で不用になった本や、市民から寄贈された本から、小説や実用書など約1200冊を用意しました。当日は600名ほどの方が来場し、ほとんどの本をお持ち帰りいただきました。



## 中央図書館をドローンで紹介する動画の最新版ができました



7月7日に公開した「中央図書館をドローンで紹介する動画」の最新版が、11月19日に公開されました。新作カットを加え、新たに編集したものです。普段見られない視点からの図書館をお楽しみください。

※視聴するには、市のサイトから「中央図書館\_ドローン」で検索してください。



## 中央図書館に「りんごの棚」ができました

中央図書館では、3F子どもとティーンズのフロアに、「りんごの棚」を設置しました。「りんごの棚」とは、スウェーデンの図書館から始まった、「特別なニーズのある子どもたちも楽しめる本」を集めたコーナーのことです。DAISY(デイジー。視覚障がい者や印刷物を読むことが困難な方のための電子書籍)、点字付きの触る絵本、布の絵本、LLブック(難しい言葉を使わないように工夫してつくられた本)、視力の弱い方でも読みやすい大活字図書などを展示しています。

3F子どもとティーンズのフロア



## ★図書館カレンダー★

令和5年(2023年)1月						
日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	④	5	6	7
8	9	⑩	11	12	13	14
15	⑯	17	18	19	20	21
22	⑳	24	25	26	27	28
29	⑳	31				

令和5年(2023年)2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉑	28				

○の付いた日: 全館休館日

△は中央図書館のみ午後1時から開館します

### 蔵書点検

中央図書館 1月11日(水)～1月14日(土)  
 新習志野図書館 1月18日(水)～1月24日(火)  
 東習志野図書館 1月25日(水)～1月31日(火)  
 谷津図書館 2月1日(水)～2月7日(火)

### 祝日開館日

1月9日(月)《振替休館日: 1月10日(火)》  
 2月11日(土)、2月23日(木)

## ★編集後記★

プラッツ習志野3周年イベントのブックリサイクルには3名の大学生ボランティアが参加し、会場の設営や来場者の案内など、さまざまなお手伝いをしてくださいました。ありがとうございました。



中央図書館報 としょかんの広場  
第16号(通巻100号・訂正版)

発行日: 令和5年2月10日

編集・発行: 習志野市立中央図書館

電話: 047-475-3213

<https://www.narashino-lib.jp>

